



私の視察した歐米の幼稚園教育 (七)

堀 七 藏

四、保育學校の建物

保育學校の建物は單純に保育學校となすか更に嬰兒の保健事業を附加するかによつて異なる。また母親の學校を兼ねるか、小學校と連絡するかによつても異なるので一樣に述べることは困難であるといふのであります。それは誠に當然のことでありませう。しかし左の事項は保育學校の建物に關し是非考へねばならぬことであります。

(1) 敷地 建物の外に幼兒の自由にとびまはり得る空地が是非必要で、若しこの空地がない保育學校ならば保育學校の目的を半分も達成することが出来ないからであります。

(2) 建物 (イ) マーガレット・マクミラン女史がロンドン デプトフォードに於て實驗せるところのオープンエアタイプの建物がよい。それは自然と密接に關係を保つことが出来、幼兒の發達に重大なる好結果

を來すものであるからであります。勿論建物は南向又は南東向であることが至極肝要であります。成るべくよく午前中日光を射入させる工夫が肝要で、各室共に南向となし各室の南北の戸が地上より普通の窓の高さまであくやうにせねばならぬと申します。これは我が國の椽側と障子との關係のやうにするとして日射量の少い英國などでは甚だ望ましいことに相違ありません。

(ロ) 建物は單純て親しみを感ずるやうな建築様式で、父母も幼児も喜ぶやうな氣持のよい建物でなくてはならぬと申します。

(ハ) 建物の内部は適當な室温を保つやうに煖室法を工夫せねばならぬことは保育學校に於て一層必要であると申します。それは年少な幼児が室内で活動するのであるから、危険がなく床上が適當にあたゝまつてゐる必要があることは申すまでもありません。従つて成るべく保育室の床下にスチームパイプがある方がよいのであります。普通の室の如くストーブの不適當なことは申すまでもなく、スチームでも床上三四尺もあるのでは幼少な幼児、床上で活動する幼児の室を煖むるに適しないからであります。それで床の溫度が華氏の六十五度から七十度、室内の溫度は五十六度から六十度が適當だといふのであります。この保育學校の煖室方法は我が國の幼稚園などでも参考とせねばなりません。家庭が疊であるからよいのであります。西洋間になつてゐる子供室とか幼稚園の保育室では兎角床の溫度がひくいのであります。ストーブでも火鉢でも皆室内の空氣を高いところだけ煖めて、幼児のゐる低いところを煖め難いか

らてあります。

(3) 間取 保育學校には (イ) 大きな遊戯室、少くとも二〇呎に四十呎以上の室が必要である。之を二室に分ち二三歳兒と四五歳兒とに分ちて遊ばしめる。勿論南向でなくてはならぬ。といふのであります。

茲に注意いたしますのはこの保育學校は幼兒四十人を標準としてゐること、及び保育室が遊戯室で、我が國の幼稚園の如く保育室と遊戯室とを分割しての間取てはありませぬ。保育學校では保育室が遊戯室であるべきものであることを前提として考へてゐるのであります。

(ロ) 睡眠室。これは必ずしも南向を必要としないのであります。

(ハ) 小さな室。十呎四方又は十二呎四方位の小さな室が一室必要である。これは二三人の幼兒が靜かにしてゐる室であります。

(ニ) 小さな臺所。食器を洗ふ所、食物の置場を兼ねて幼兒の食物を簡單にこしらへるに足る室が必要であります。

(ホ) 教師の食堂並に休息室。歐米の學校幼稚園には教員室のないのが普通であります。教師が集つて食事する室、休息し喫煙談話などする室が必要であるからであります。

(ヘ) 親達との面會室。我が國の小學校幼稚園などには應接室がありますが、英國の保育學校では應接室といふものよりも母親との面會室が必要といふのであります。

(ト)、受付室。この室は幼児の受付をなす室で、日當よく洗濯器を備付けることが必要であるといふのであります。これも幼児本位の室であります。我が國小學校幼稚園の昇降口に相當するのであります。こゝで毎朝幼児の受付をなし、検査をなす室で非常に重要な場所とする譯であります。

(チ)、外套室。十二呎又は十五呎四方の室で、幼児の分と教師の分とを必要とするのであります。英國で外套室といへば防寒用の外套を置く室で、我が國の携帶品室のやうに雨具置場になるのとは大分異なるのであります。我が國のやうに雨量が多くないから、外套は雨具ではないのであります。主として防寒具であります。

(リ)、便所。これは教師用と幼児用とを別々にし、幼児用のものは成るべく遊戯室、受付室、睡眠室に接近することを必要となすのであります。

尚ほ間取の關係については教師室は建物の一方よりも中央に近いこと、臺所は幼児の食事する室、即ち遊戯室の一と教師室とに近きこと、隔離室となる小さな室は教師室に近きこと等の條件を満足するやうに間取を考慮せねばならぬのであります。

(4) 花壇 保育學校では甚だ廣い花壇を必要とせぬ。しかし作業が出来、苗床があり、樹木があり、また芝生の所がなくてはならぬのであります。しかし保育學校の必要な都會地では花壇をつくることが多くは困難であります。かゝる所では止むを得ないから屋上庭園だけなりとつくる必要であります。

す。若し公園が半哩位の所にあれば保育學校はその公園の中に設ける方がよいのであります。

五、保育學校の設備

(1) 取付設備としてイ、ホットウォターの出る装置が必要ですから、冷水温湯のパイプを敷設する方がよいのであります。

(ロ) 受付室に取付ける設備としては四十人の幼児に六個の洗滌器が必要です。洗滌器の高さは十六時から二十吋位とし、幼児が使ふに便なるやうにせねばなりません。また二個の浴槽と幼児のタオル掛が必要です。浴槽は幼児用のものでよく、タオル掛の半分は三十吋の高さ、半分は三十六吋の高で、六吋置にかけられるやうになすのが便宜であるといふのであります。

(ハ) 衛生設備。便所は適當に考案し、三歳より六歳までの幼児三十人に對し四個以上の設備が必要です。各便所は三・五呎から四呎の高さの仕切をなすのであります。そしてよく水で流し得るやうになすことは勿論で、坐高は六―八吋、内徑は七―九吋であるがよいのであります。

(ニ) 外套室の懸釘は受付室のタオル掛と同高で、十二吋置がよいのであります。各幼児の着物が接觸しないことが肝要であります。また便所と別の外套室では洗滌器が教師用として必要であります。

(ホ) 親達を集合させる必要がありますから電燈を取付けて置く方がよいのであります。

(ヘ) 固定した戸棚を取付ける必要があります。臺所には食料、食器、洗滌道具に別々の戸棚が必要で

あります。受付室にはタオル、着物を入れるもの、遊戯室には玩具、遊戯道具を入れるもの、睡眠室には幼児用の毛布・枕を入れる爲めに柵組の戸棚が必要です。

(ト)、日覆 睡眠室には室内を暗くする爲の日覆が必要です。しかし他の室には一切入用ではありません。これは英國の如き緯度の高い日射の弱い所の話であることを注意して考へる必要があります。

(2) 裝飾 壁色は黄色がよい。黄色は幼児の保育室に明い感じを與へるからであります。壁の他は柔いピンク色がよいのであります。腰羽目は青色で洗滌し得るペイント、その上が純黄色又はクリーム色にするがよい。しかし柔い灰色の壁もよいのであります。或は空色の壁で保姆の服も空色といふ方もよいといふのであります。床はコルククリノリウムで壁色と調和することが肝要であります。これは英國での話であります。我が國では氣候も英國に比べて著しく異りいろいろの理由がありますから相當に考量すべきことは申すまでもありません。

(3) 器具、玩具、移動し得る什器について保育學校として必要なものを列擧することも參考となりませう。

(イ)、受付室、各幼児に石鹼、フランネル、齒磨、刷毛等を入れる容器として幼児が見分け得るやうな文字又は繪の名前をつけて置く。

助手用の椅子、二歳児のためのあまる椅子十二脚、普通の幼児用椅子二三脚。

戸棚は浴用タオル、顔拭用タオル、雑巾、お茶時のクロス、テーブルかけを納め置くもの。
消毒用戸棚をも備付ける。

(ロ)、外套室、短靴長靴を入れる棚を備付ける。

(ハ)、遊戯室(保育室)各幼児のテーブル室でありますから二人がけの小さな軽いテーブル、食卓テーブル、真直なよりかゝりのある小さな腰掛八吋、十吋、十二吋の三種を要するのであります。勿論その他に保姆並に親達のために大人用の腰掛が若干必要であります。

樂器、ピアノ又は金屬弦器が必要であります。

戸棚・選定せる玩具、積木、繪本等を入れるもの、人形の家、料理臺、幼児の牛乳コップなどを入れるものが必要であります。

繪、名畫を選定することが必要であります。

臺、鉢植、草花をさした瓶などを載せる臺が必要であります。

(ニ)、睡眠室、各幼児に軽い疊み寢臺、毛布、枕、カバーを必要とする。

それ／＼名前をつけて置く必要があります。

一個の椅子と小さなテーブルも必要であります。

(ホ)、保姆、助手の室 安樂椅子、寢椅子、食卓、書寫臺、普通の椅子

(ハ)、臺所 普通臺所の器物、食器洗場、晝食時に幼児並に保姆のものをつくるに必要な、またお茶時に大人のために必要な食器、鍋類が必要であります、食物置場。

(ト)、隔離室 長寢臺、幼児用テーブル、幼児腰掛二三脚、小戸棚、應急手當の用具
以上は幼児四十人を收容する保育學校としての設備の大要であります。

大體英國の幼稚園教育の情況を説明いたしましたから歐羅巴大陸の幼稚園教育に移りませう。しかし茲に英國の幼稚園教育とは直接關係がありませんが二三説明して置きたい事項がありますからそれを説明いたします。

一

第一には英國の幼稚園數について説明いたします。以上説明した所で大體明白になつたと思ひますがロンドンで申しますと私立の幼稚園と私立の保育學校に對してロンドンカウンティカウンシルの幼稚學校がありましてロンドンの幼稚園教育が行はれてゐます。ロンドン居住者にして貴族富豪などでは家庭にナースを雇入れて幼児の教育を一切任せるといふ階級の人々があります。是等のナースは看護婦であり家庭教師であり立派な教養を受け一定の資格を有するものであります。従つて我が國の上流社會に於ける乳母とか家庭教師とか看護婦とか稱するものよりも適任者であります。何しろ幼児教育を擔當し保育するに適當な教養をなしロンドンの資格試験を受けて合格したものが家庭住込みで一切幼児の教育

を責任を以て行ふのでありますから行届いてゐる譯であります。

次に家庭にナースを雇入れるだけのことは出来ないから私立の幼稚園に入れて一定の幼稚園教育を受けさせる家庭が少くありません。これは保育料を仕拂はねばなりません、それ以上の教育的効果を認め他方に於ては母親が他の仕事をなし得ることを考量してゐる家庭が幼児を教育するためにとつてゐる方法であります。従つて我が國の幼稚園に幼児を入園させてゐる親達と同様の考を持つてゐるものでありませう。

第三には貧民の家庭にて幼児を放任してゐることが甚だ教育的でないといふことから特に出來た保育學校があります。これは我が國の托兒所よりも一層立派なものであつて、單に子供を集めて預つてゐるといふ單純なものではありません。それ等の詳細は説明いたしましたこととありますから茲に繰返す必要がありません。

只英國は滿五歳より義務教育を施してゐる關係、我が國の幼稚園に相當する所謂幼稚學校がロンドンカウンティ、カウンシルには甚だ多いのであります。これはロンドンカウンティの學校でありますから統計があり明白でありますので茲に一九二四年の統計をお目にかけることが出來ます。ロンドン市にある小學校が九六一校その内カウンシルの學校が六〇五校、補助の學校が三五六校、そしてカウンシルの學校には一六一一の部があつて男子部が四八四、女子部が四八二、男女共學が一〇二、幼稚部が五〇三、併

合せるものが四〇。補助の學校には七三六部その内、二〇一が男子部、一四九が女子部、男女共學が三九、幼稚部が一九一、併合せるものが一三六あります。それで合計すると

男子部 六八五、 女子部 六三一

男女共學 一四一 幼稚部 六九四 併合せるもの一七六あります。以て幼稚部が甚だ

多いことが分りませう。

更にエデンバラ市の教育統計を見ますと

三の幼稚學校 九六二人 七十三の小學校 五、九〇〇三人

二の工業、商業學校 一五三二人 二の中間學校 一五八九人

八の中等學校 九二四八人 七の特殊學校 八三二人

總計學校數が九十五校、生徒數七萬三千百六十六人であります。之を更に年齢別に見ると

	五歳以下	5—6	6—7	7—9	9—12	21—13	13—14	14—15
幼 兒	252	5946	4300	2989	92	1		
低 學 年		6	119	6197	5612	102	22	5
中 學 年					11739	4576	2109	374
高 學 年					57	651	1967	699

特殊學校又學校	14	37	29	150	374	126	120	64
---------	----	----	----	-----	-----	-----	-----	----

右の表を見ると五歳以下の幼児は二六六人、五歳より六歳のが五九八九人、六歳より七歳のが四四四八人あります。これが人口僅かに三十五萬のエヂンバラ市のことであるから幼児教育の盛なところが想像出来ませう。總じて英國には中等教育以上に力を注ぐよりも小學校又はそれ以下の幼児教育に一層力を注いでゐるやうであります。これは我が國などでも大に考量すべき點でありませう。教育といへば小學校以上を考へるのは基礎を十分にせずして徒らに立派な建築をなすやうなものであります。小學校以下の時代に於て幼児の心身が十分なる發達をなさず幼児の品性習慣を等閑にして置き不確實なる基礎の上に教育を施すもので甚だ面白くないことは明白でありませう。

二

第二に幼児の健康増進の工夫や方法が大に講究せられてゐることであります。我が國は多産の國で多死の國であることは統計で明白であります。茲に大正十四年の死亡者年齢別の統計を見ませうか。

實數	千分比例
零歳	一六〇・三一
一歳	四一・七二
二歳	二〇・三五
	二四五・三
	六七・八
	三三・八
	二四二・四
	一六一・一

三歲	一二、三四三	二〇・九	
四歲	七、六七八	一三・三	
五歲	一五、五三一	二六・四	二五、七六三
一〇歲	一〇、二三二	二〇・〇	四六・四
一五歲	一二、三二三	四一・五	二五、七六三
二〇歲	二三、四六四	四一・三	四六・四
二五歲	一七、六七三	三一・五	四五、七八七
三〇歲	一四、二一三	二五・七	八一・八
三五歲	一四、八八〇	二六・四	六一・二
四〇歲	一七、九六〇	二八・七	三一、八八六
四五歲	二二、四二〇	三二・六	六五・一
五〇歲	二四、六四三	三四・九	四七、〇六三
五五歲	二九、九六一	四一・六	六七・五
六〇歲	七二、五二七	一〇五・八	
七〇歲	七〇、五三三	一一六・二	

八〇歳——八九歳	二一、二二三	四二・九
九〇歳以上	一、三〇〇	三・五
年齢不詳	五八	〇・一
總數	六二一、三三七	一〇〇〇・〇

右の表を注意して見れば零歳で死亡するもの實に十六萬、千分比で二四五。實に出生者の四分の一が死亡するのであります。また一歳で死亡するもの四萬、二歳で死亡するもの二萬、三歳では一萬二千、四歳では七千七百。之を一歳より四歳まで合計すると八萬二千であります。千分比にすると百二十六。零歳の半數であります。而して一歳より四歳までの死亡は實に五歳より二四歳までの總數に匹敵し千分比一三四に比し僅かに三の差にすぎません。又出生より四歳、即ち五歳以下の死亡者が千分比で三百八十一。それで出生者の三割八分、ザット四割が死亡する譯であります。この大勢は世界各国同様の傾向はもつて居りますが文明國で我が國程幼児の死亡率の多い所は蓋し稀でありませう。兎に角英國はこの幼児死亡率を減少し、幼児の健康増進のためいろいろ方法を講じて居ります。ロンドンカウンティ、カウシルは特に幼児保護の教授を施すことを實施してゐます。所謂育児法の特別教授をなしてゐるのであります。我が國では女學校に於て家事科に僅かな育児の講義をしてゐますが多くは育児の經驗のない家事の教師が只机上の空論を講義するだけで、生徒はふざけ半分にさくに止まる有様であります。しか

しロンドン市では實地に練習を兼ねた醫學的の講義であり、一定の資格を與へるやうな教養としてゐるのでありますから實際幼兒の健康増進に大なる功獻をなすことであります。我が國でも近時漸く成人教育が盛となりましたが婦人に對する成人教育の主要なる題目事項は幼兒の實際に關するものでなくてはなりません。目前に必要感に迫られてゐる若き母親に對し幼兒の確固たる方針や方法醫學的の知識等を教授することは女學生に對する空論とはその効果に雲泥の差があります。

また英國では保育學校を通じて母親に幼兒の知識技能を啓發してゐることも注目すべき點であります。我が國幼稚園の保護者懇話會や保護者會は單に幼兒についての小言や幼稚園維持の費用を支出させるだけでなく積極的に家庭に對して育児法幼兒教育法を徹底させる方法を講じ工夫を行はねばならぬと思ひます。兎角我が國の幼兒保護に關する宣傳は知的方面に流れ易く、乳幼兒の身體的保護、健康増進の方面が輕視せられ勝てあることを遺憾に思ふのであります。

三

大正十五年十二月十五日ロンドンの北部ハムステッドにあるロンドンカウンティカウンシルの健康研究所を參觀いたしました。こゝでは午後二時半より四時まで五歳以下の幼兒の健康診断を無料で行つて居ります。此の幼兒の健康診断を行ふことによつて一は幼兒の身體的研究をなす資料を得ることが出来ませう。身長・體重・胸圍等を測定し、幼兒發育の状態を十分研究し得る資料が提供せられます。我が

國にはよく研究した幼児の發育表さへない位でありますが、これは容易にその材料が得られないからであります。病院では普通の幼児に關する材料が得られず幼稚園では三四歳以下のものは全く得られず、且つ専門醫がない所で行ふのであるから不完全であるといふ有様で、僅かに三島博士の調査を何時でも引合に出さねば他に全くよい研究がない位ではありませんか。ハムステット健康研究所は乳幼児の無料診断を行つて幼児發育等の研究をなしてゐるので誠によい企てであると思はれます。この研究所では更に母親に對し幼児保護の方法を授け、育児の實際的手腕を養ふことに大なる功獻をして居ります。私が行つた日には慈善家よりの寄附金を以て乳幼児の食物、衣服類更に玩具等乳幼児に必要な品々を實費以下にて販賣して居り。母親達に茶菓（これは四時のお茶であります）を無料で供給して居りました。この研究所はハムステットでは比較的貧民の多い住宅地にありますから何れも上品でない母親達が幼児を抱いたり乳母車に載せて澤山來て居ります。一階二階ではせつせと乳幼児の測定や診断を行つて居り、地下室では賣店食堂があつて澤山の母親達が乳幼児の用品を購求し、お茶をのみお菓子をたべてゐるといふ光景でありました。私もお茶お菓子の御馳走になりいろいろの説明をきくことが出來たのであります。それでロンドンでは五歳以上の幼児は幼稚學校小學校で體格検査健康診断を行つてゐますが、五歳以下の幼児についてはこの研究所などで幼児の健康増進法を講究し普及させる方法をとつてゐるのであります。これは我が國の如く幼児の死亡率の多い國では國家としても自治團體などに於ても大に模

做すべき事柄だと思はれます。慈善的に行ふ事業としても幼児の健康増進法の講究普及は最も大切なよ
い事項ではありますまいか。

四

更にロンドン市では貧民の幼児に榮養食を小學校で供與して居ります。カウンティ、カウンシルの報
告によると一九二四年末に於て九千五百人の兒童に一週四萬七千の食事を、これは全く無料か又は一部
分の代價を支拂はれるものであります。給與してゐます。また一萬七千五百人の兒童に對し毎週八萬五
千の食事これは實費を徴收して供給してゐます。是等は主として小學校の晝食で幼児に適當な榮養食、
ライスブッデングとか、ミルクとかいふやうなものを學校に於て適當に供給するのであります。丁度大正
十五年十二月十七日ロンドンカウンティカウンシルのミッドルロー小學校を參觀したとき榮養食物を給與
して居りました。この附近は工場が多く貧民が多いのでこの小學校では女兒部の割烹室の外に廊下を仕
切つて澤山の貧民兒童に晝食を供給し得るやうになつて居ります。私の見たときには大きな井に暖いス
ープとパンとライスブッデングとを與へるやうにしてありました。私はこの食物給與を我が國で眞似せ
ねばならぬとは考へませんが、しかし幼児に適當な食物榮養辨當などを研究し、比較的安價に危険なし
に供給することは東京大阪等の如き大都市では幼稚園小學校は勿論中等學校でも至極肝要だと思はれま
す。冷い辨當を食はねばならぬ冬季の學校晝食は如何に兒童生徒の保健上悲慘なものであるかを考へる

ときは慈善事業ではなく國民保健上重大事業だと思ふのであります。

五

最後に附加したいことは子供公園に關しての事柄であります。ロンドン市の如き大都市の小學校には芝生の運動場も校庭に樹木を栽培して置くことも出来ません。これは我が國東京大阪などの小學校に於ても同様であります。ロンドン市は到る處住宅にはよい芝生があつて幼兒の運動には比較的都合がよく出来てゐますが尙ほ幼兒の健康増進上甚だ不足であります。それでロンドンには到る所大小の公園が澤山あります。ハイドパーク、ケンジントンガーデン、グリーンパーク、セントゼームスパーク、レーセントパーク、プリムローズヒル、グリーンウイチパーク、ザイクトリヤパーク、ケンニントンパークの如き大公園は多く市中に近く存在し一八五〇年代から公園となつて管理せられたものであるがこの外にロンドンカウンティカウンシルの管理する大小の公園、公開の廣場が數に於て百十七、その面積五千百八十三エーカー公園で使用せる人々が一千百六十一人維持費毎年三十一萬ポンドといふ統計になつてゐます。之に右の九大公園を合算すると實に莫大な面積となりますが試みに一エーカーは一千二百二十五坪に相當いたしますから六千エーカーでは七百三十五萬坪ロンドン市の公園總面積少くとも八千エーカー以上ありますから一千萬坪ある計算になりませう。兎に角大小多數の公園があつて芝生があり池があり丘があり樹木や花卉草花等が栽培せられてゐるのは勿論であります。それで各日曜の午前は殆ど乳幼兒の運動日光

浴に専用せられてゐる有様であります。若し午前中に公園に行けばよちよち歩む幼児が芝生の上をころ／＼歩むか乳母車に乳兒を載せたナースの群が非常に多いのであります。全く午前の公園は乳幼兒と犬とナースだけであるといつても決して不當ではありません。午後三時以後になれば小學兒童などが多くなり午後六時以後は大人の専用となりますが兎に角大小の公園は幼兒保健上に功獻してゐることは實に莫大なものであります。殊に注意すべきはどの公園廣場でも必ず子供遊園があることとあります。満十四歳以下の兒童幼兒のみが自由に運動する子供のための遊園があります。こゝへは大人は入ることが出来ない若し入るならば幼兒の運動を保護するため決して運動具を使用することが出来ません。東京の小公園の如く小僧や御用さゝの如き連中が愉快に遊んでゐる幼兒からブランコやすべり臺を奪ふといふが如きことは毛頭ありません。例へばケンニングトンパークの一角にこの子供遊園があります。ちやんとロンドンカウンティ、カウンシルの掲示がしてあります。十四歳以上のものが入つてはならぬことが揭示してありますが私は特に入つて見ますと自働電話室の如きものがあります。そこに一人、五十以上と見える婦人がゐます。これは公園のナースで子供が遊んでゐる間に怪我などをすれば應急の手當をなす人で且つ子供の遊を監督する人であります。ブランコが子供用と幼兒用とに分けてあるし廻旋塔も二つもありブランコは四ヶ所にあつてその數は三十もあります。また幼兒の砂場があつて専ら小學校一二年位までの幼兒の使用に供してある附添の母親とかナースも多く入つてゐるが決して運動用具を使用せず

幼児の運動を助けてゐるか自由遊びをさして別に用意してある腰掛で監督してゐるといふ有様であります。また英國議院の横にあるヴィクトリヤタワーガーデンの一隅には大きな砂場があります。私は大正十五年六月十九日この公園に來たのが午後四時前九十幾人の男女の子供幼きものは漸く歩く位、大きいもので十二三歳、丁度日曜日のことであるから大きな子供は弟妹を連れて來て共に遊んでゐます。玩具のバケツ、匙などて穴を掘り山を築き自動車をつくり、トンネル築きまた全身を砂中に埋めなどして日光浴をしつゝ嘻々として遊んでゐます有様、大人の附添は僅かに三人この三人共砂場の横に監督しつゝ讀書してゐるのであります。また水のみ手を洗ふために水道栓が數ヶ所出來てゐて子供が自由に使用し得るやうになつて居ります。以上の二例は模範的のものではないのでこの公園にも必ずこの子供公園が出來てゐるしナースがゐて手當をなすやうになつてゐることは確かに公園をよく利用してゐるものといはねばなりません。我が國でも東京には小公園が澤山出來、日比谷公園には子供公園が出來設備が次第に完備しつゝあり明治神宮外苑には立派な子供遊園が出來てゐますなどは誠に喜ばしき施設であります。がもつとこの方面が発達せねばならずこれが經營に工夫を要し之を利用する上に考量すべきことが多しと思はれます。兎に角大都市になればなるほど幼児保護の施設を完備せねばなりませんから特に幼稚園教育に盡力する方は必要な工夫と指導をせねばなりません。幼稚園でも幼児の遊び場運動用具に今一層考量し施設するところがなければなりません。また英國保育學校の如く特に公園利用を目的として幼稚園保育學校托兒所等を設置することが肝要であります。